

Ⅲ 一般演題 A 6. 高気圧酸素療法の耳鼻科副作用について

名古屋大学医学部

耳鼻咽喉科 柳田則之 三宅 弘
高気圧治療室 高橋英世 小村繁夫 小西信一郎
浅井れい子
第 1 外科 榊原欣作 城所 仁 川村光生

高気圧酸素治療 (OHP) は高い気圧環境下に生体を収容することから種々の副作用を惹起する可能性をもっている。これら副作用のうち重要なものとして、加圧及び減圧の際に環境気圧と中耳腔内圧の unbalance による耳科的障害があげられる。

勿論、私共は OHP 治療前に鼻腔所見、鼓膜所見、耳管通気、聴力検査、等を施行、症例によっては毎回の OHP 治療前後に鼓膜所見の観察と耳管通気を行い、副作用の予防につとめている。

〔治療法並びに検査対象〕

名大における治療法は 2.0 又は 2.5 ATA、空気加圧、60～90 分を 1 回の治療とし、加圧時間 10～15 分、減圧時間 15～20 分で行なっている。

対象は、表 1 の如く昭和 47 年 1 月より昭和 48 年 9 月まで、OHP を行ったもの、合計 136 名のうち、OHP を 7 回以上施行し、治療前、治療中並びに治療後に耳科的観察を行い得たもの 98 名 (耳鼻科的疾患 47 名、スモン病 31 名、バージャー氏病 10 名、眼科疾患 10 名) について耳科的副作用を検討した。

〔副作用の出現及び検討〕

98 例における耳科的副作用の出現は表 2 に示す如くである。

1) 第 1 回の OHP 後に鼓膜発赤を認めたものか、両側共に来したもの 15 名 (15.3%)、一側だけのもの 7 例 (7.1%) にみられた。これら鼓膜発赤を著明に来たしたものうち、極めて初期の症例では鼓膜発赤が軽減するまで数日間 OHP を中止した。しかしその後の大部分の症例は OHP を中止することなく施行したが、鼓膜発赤はその後増強せず、回を重ねるにつれてむしろ軽減し

た。

- 2) 第1回のOHPでは全く鼓膜に異常を認めず、数回のOHP以後に急に鼓膜発赤を起したものが、両側同時に来したもの3例、一側のみに来したものが7例みられた。これらの多くは急性咽頭炎に罹患し、耳管咽頭口粘膜の腫瘍発赤による耳管の閉塞がその原因と考えられる。
- 3) 鼓膜発赤を来した際、自覚症状(耳痛、耳閉塞感等)は強いが、聴力低下は殆んどみられない。
- 4) 鼓膜発赤を来したものにOHPを続けたが、そのうちの約1/3に鼓室内に滲漏液の貯留を著明に来し、鼓膜穿刺を行った。即ち両側共鼓膜穿刺を行ったもの3例、1側のみのも8例、合計11例(11.2%)ある。
しかしこれら大部分の症例が、漿液性の貯留液で、1回の穿刺で不快感は軽快し、OHP終了後に滲出性中耳炎をのこしたものは認められなかった。
- 5) OHP前に鼓膜穿孔(慢性中耳炎)が認められたものが4名(5耳)あったが、OHPにより鼓室粘膜の発赤、耳漏の増強はみられなかった。
- 6) 内耳障害を来したものは全く認められなかった。
- 7) 各疾患別に副作用をみた際、その出現の程度の差異はあまりない。
- 8) 難聴疾患においても副作用の出現は難聴側と関係がない。

表-1 症例 136名
(昭和47年1月より現在まで)

耳鼻科	47名 突発性難聴 神経性難聴 突発性嗅覚障害	36名 9名 2名
内(小児)科	40名 スモン病 その他	34名 6名
外科	25名 パージャー氏病 その他	14名 11名
眼科	11名	
整形外科	3名	
皮膚科	1名	
脳神経外科	9名	

表-2

	症 例 数	鼓 膜 発 赤					鼓 膜 穿 刺		
		第 1 回 后		数 回 后		計			
		両 側	一 側	両 側	一 側		両 側	一 側	計
突発性難聴	36	7	3	1	2	13	1	3	4
神経性難聴	9	3	0	1	0	4	1	0	1
嗅覚障碍	2	0	1	0	0	1	0	1	1
スモン病	31	3	3	1	3	10	1	3	4
パージャー氏病	10	1	0	0	1	2	0	0	0
眼科疾患	10	1	0	0	1	2	0	1	1
計	98	15	7	3	7	32 (32.6%)	3	8	11 (11.2%)

〈追 加〉 九州労災病高圧医療研究部 林 皓

九州労災病院では、毎月、延、300時間の高圧酸素療法を行っていますがその対象患者は、潜水病が7割、その他がCO-中毒、SMON、それから最近では、慢性関節リウマチ患者等である。今までの経験では、OHP後、鼓膜穿刺を要したものは一例にすぎず、又、耳痛、鼓膜発赤を来すものも非常に少い。いづれの場合にも、OHPを中止しなければならないものは一例もなかった。尚、CO-中毒患者等、意識のない患者は、あらかじめ、OHP前に、鼓膜穿刺を行っている。